

平成28年度 第2回平群町地域公共交通会議 議事要旨

日 時 平成29年2月10日（金曜日） 10時～12時
場 所 商工会館 2階会議室
出席者 19名

配付資料

- [資料-1：平成28年度 第1回平群町地域公共交通会議 議事要旨](#)
- [資料-2：平成28年度コミュニティバス利用実績（平成28年12月末現在）](#)
- [資料-3：平成28年度ゆめさとこども園の利用状況報告（平成28年12月末現在）](#)
- [資料-4：「コミュニティバスでゆく秋の平群」開催報告](#)
- [資料-5：無料乗車実施報告](#)
- [資料-6：視察研修報告](#)
- [資料-7：平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告](#)
- [資料-8：平成29年度事業計画（案）](#)
- [資料-9：平成29年度予算（案）](#)
- [資料-10：コミュニティバスダイヤ改正（案）・新停留所設置（案）](#)
- [資料-11：春日丘地区ルート変更](#)
- [資料-12：平群駅前ルート変更](#)

【議題】

- ・前回の議事概要の確認
- ・コミュニティバス・ゆめさとこども園の利用状況報告（12月末現在）
- ・イベント（公共交通イベント、無料乗車）の実施報告
- ・視察研修報告
- ・平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告
- ・議案第1号 平成29年度事業計画（案）について
- ・議案第2号 平成29年度予算（案）について
- ・議案第3号 コミュニティバスダイヤ改正（案）について

【議事内容】

○前回の議事概要の確認

(事務局より現況報告)

○コミュニティバス・ゆめさとこども園の利用状況報告

(事務局より現況報告)

県地域交通課：南北循環ルートと中央循環ルートというのは同じものを指すのですか。

事務局：平成22年度、当初は南と北を一つのループのような形で走っていましたが、「中央循環ルート」と表現していたが、1便の運行時間が長く、行きと帰りで乗る時間が長すぎるということで、南北循環ルートと南ルートに分けた。

副会長：西山間ルート、平成28年度は1万人を切るか切らないかという状況に落ち込んでおります。その要因は便数の関係もありますが、利用者が減っているということが一番大きい。子供が減っていることもあるが、親御さんの都合なのか、利用されていない方も数人いらっしゃるの、その方たちも利用していただけるような方策を考えていただきたい。

西山間ルート、南北循環ルート、南ルートとも駅での乗降が一番多い。3駅とその周辺の公民館、役場等の付近が一番多い。ダイヤ改正については、駅に行かれる方が多いので、そのへんも十分加味した策がよいのではないか。

事務局：西山間ルートについては、乗っていただくということが大前提でございます。利用者のご意見を聞きながら、調査も含めてしていきたい。

東山、平群、竜田川の3駅ですが、特に役場を中心に老人福祉センター、東山というところで、今回の改正につきましては、南北循環ルートあるいは南ルート利用の方がなるべくバイパス沿線を集中して利用していただけるようなルート改正にしております。

平群駅からの一方通行が解除されるということもあわせまして、効率よく運行できるようになるのではないかと。そういうことも含めて今回のダイヤ改正をさせていただいて利用拡大を図っていきたい。

副会長：ゆめさとこども園への乗り入れで、3、4人が利用されているが、そのあたりの声はどういうふうに聞いておられるのですか。

事務局：ゆめさとこども園につきましては、PTAで熱心にアンケート、要望を聞いていただき、町に要望が出ており、それに沿って合意形成を図ってまいりました。今回の改正は園、教育委員会関係と合意を図って提案するものです。

今回の改正は100%要望に応えられないところもありますが、PTAあるいは会社も含めて協議する中での提案ということでご理解いただきたい。

PTA：ゆめさとこども園については、潜在的な乗車要求はある。ダイヤがうまくいけば利用したいという声はあります。また同時に、バスだけではなく、車での送迎の場合に課題があります。スズキアリーナの店がある角の信号のない交差点を右折、左折してこども園に送り迎えをする、あるいは大井出路線の非常に狭いところを走って送り迎えする。これが危険だという思いを持っておられる保

護者はたくさんおられます。仮にあそこの交差点とか道路の改良が行われれば車での送迎に移りたいという声がある一方で、ここが危ないままだったら電車やバスのほうが安全だという声もある。

電車やバスを使おうと思えばダイヤの問題と駅のバリアフリーの問題があります。

環境が変われば乗車要求もまた変わってくる。我々としても毎年、保護者を対象にアンケートをとって、意見集約をして町に提出しようと思っています。役場としても絶えず潜在的乗車要求をつかんでいただくことが大事ではないか。交差点改良には警察もかかわってくることで、信号機設置を求める声も非常に強くあります。こういう会議の場でそういった潜在的な要求なども出し合っていくことが大事ではないか。

事務局 : いろいろな潜在的要素に基づいた中でコミュニティバスをいかに効率よく運行していくかということは非常に大事だと思いますが、いろいろな道路事情もございしますので、そこはこの会議での議論とは分けて議論していきたい。

○イベント（公共交通イベント）の実施報告

（事務局より現況報告）

副会長 : 車内風景の写真も1枚か2枚あればよかった。

○イベント（無料乗車）の実施報告

（事務局より現況報告）

○視察研修報告

（事務局より現況報告）

県地域交通課 : 視察ですけれども、どういうところを見習いたいから名張市を選ばれたのか、どういうところを本町のコミュニティバスに生かしていきたいのか。

事務局 : 平群町と違うのは地域で運営しておられるというところです。平群町の場合は行政主体でこのようにコミュニティバスを運営しておりますが、名張市のように地域で運営しているというところが多いか少ないかはわかりませんが、「我々の足は我々で守っていく」というところも含めて、行政として勉強したいと思いまして名張市を選ばせていただいた。

県地域交通課 : 無料乗車などもそうなのですが、こういう目的があるからこういう取り組みをした、だからこういうことがわかった。資料などをそういうつくり方でまとめていたら読みやすい。

副会長 : 名張市は地域が物すごく広く、真中に近鉄大阪線が走ってしまっていて、4駅があります。駅中心にどういうふうにされているのかとか、駅の周辺と山手の新しい住宅団地がたくさん建っております、どのように運行されているのかということを検証したいということで、名張市を選んで研修に行った。

P T A : 行かれた率直な感想、これは参考になる、これはうちでもできるということが

あれば聞いておきたい。

事務局 : これまではすべて行政でしなければいけないと考えていたのですが、ある程度地域に任せてやっておられるところもある。いろいろなやり方があるということも含めまして勉強させていただきました。

○平群町高齢者運転免許証自主返納者支援事業報告

(事務局より現況報告)

婦人会 : これはバイクの運転免許も対象になるのですね。

事務局 : 運転免許証の自主返納で、車種にこだわらず申請していただいたら結構です。今回、コミバスの回数券とＩＣカードの２種類を用意させていただいています。コミバスではＩＣカードでの利用はできませんが、路線バスはＩＣカードが利用できますので、それと整合性をとるということで回数券とＩＣカードの二つを用意させていただいた。

長寿会 : 返納した本人に対して１回限りということは、これは１年に１回ですか。

事務局 : 一度だけということで、毎年ではございません。

長寿会 : 継続してもらったほうが返しやすいと思うのですけれども。

事務局 : いまのところ一度限りということになっております。今後検討していきたい。

長寿会 : 何年か前までは65歳以上は3,000円、2,000円というのがありましたが、それがなくなりましたので、その続きということでまたやっていただいたらどうか。

○議案第1号 平成29年度事業計画(案)について

(事務局より現況報告)

自治会 : 視察研修は委員みんなで行って見ることはできないのか。実際に見ていないのでわからないですし、個人によって受ける感覚は違うだろう。

事務局 : 委員に行っていただくことについては検討してまいりたい。

副会長 : 「無料乗車日も設定予定」と書いてあります。県からもご意見をいただきましたが、目的とか効果等も十分考慮して設定していくということをお願いしたい。

事務局 : 無料乗車も毎年のように開催しまして、コミバスの周知をしてまいりたいと思います。回数につきましても、より周知が図れるように2回から3回にしてみたい。

「議案第1号承認」

○議案第2号 平成29年度予算(案)について

(事務局より現況報告)

副会長 : これは例年どおりの負担金ということですね。

事務局 : はい。

「議案第2号承認」

○議案第3号 コミュニティバスダイヤ改正（案）について

（事務局より現況報告）

自治会 : 西山間ルートは8便から10便は一方だけですか。平群駅から福貴畑集落センターまで行くほうだけで、帰りはないのですか。この時間帯に一つ入れていただけるといい。

事務局 : 西山間ルートは、今回、西山間地域の方から福貴畑地区、久安寺地区から役場のほうに戻ってくる便をふやしてほしいという要望がございました。

自治会 : 15時以降、下りる便は1便もないということですね。

事務局 : 西山間ルートの8便、9便は小学校の子供の下校の便になっており、10便、最終便の17時15分は中学校の子供の下校便になっております。

自治会 : 9便のところあたりに1便でもあればまだいい。

事務局 : 一般の方の利用がほとんどないということも含めまして、この8、9、10便は子供の下校を重視したダイヤ改正になっています。そこを調整すると子供の下校に影響するかもわかりませんが少し検討していきたい。バス会社の労働条件もございますので、そこも含めて少し検討させていただきます。

P T A : 法律上は回送のバスに乗ることはできないのですか。

N Cバス : できません。

副会長 : 回送が使えるのではないかということでしたけれども、そのへんは事務局とバス会社で検討してください。

事務局 : 今後の検討課題ということにしたい。

N Cバス : 平群駅周辺が変わるということで、この会議でご承認いただきたい。

一つは、平群駅が交互通行になりますので進入路について路線の廃止をさせていただきたい。それとあわせまして、吉新については廃止をさせていただきたい。基本的には当社の路線バスは平群町役場と中央公民館、平群駅について停留所の新設をさせていただきたい。

経路も変わりますので、系統の再編等を実施させていただきたい。それはコミュニティが重なる部分もございますので、事務局と協議をさせていただきたい。

一つは、新たにコミュニティを走らせていただく区間がございます、そちらについては地元の方々に路上駐車等がないようにご協力いただきたい。

ゆめさとこども園につきましては、一般車両の出入りがございますので、混雑整理や安全確保について実施していただけたらと思っております。

春日丘中三条通南の停留所は、防火ホースの移設とゴミ収集場所の変更をお願いしたい。

事務局 : 春日丘中三条の消火栓ボックスの移設は検討してまいります。ゴミステーションの場所につきましても、バスが安全に運行できるように検討したい。

P T A : 前回の議事録のところで、ゆめさとこども園からの要望について、事務局として「できるだけ要望に沿った形で検討」ということがありました。今回、改定

になったわけですが、どういう検討の議論があったのかということを紹介しておいていただければと思っております。

事務局 : 資料をもとに過去に3回、会長さんはじめPTAの役員の方とも協議をさせていただきました。また、教育委員会とも協議をさせていただきまして最終合意に至っております。

今回のダイヤ提案につきましては役員の方々とも事前に協議を行いまして合意を得たところでございます。主な内容は北地域の方が速やかにゆめさとこども園に通園、通学の便として利用したいということが多数ございましたので、それを一番に重視した検討をしましてこのようなダイヤ提案をさせていただいた。

NCバス : 平群町役場のバス停については協議中ということですが、通常、協議会で承認されると、バス事業者は手続きがかなり勘案されるが、平群町役場が協議中であつた場合、通常どおりの審査期間をいただいて処理されるのか、そうではないのか。標準スケジュールからすると概ね3カ月かかりますから、バス事業者の常識からすると間に合わないということになる。そのお答えを出していただかないと、「4月3日には走れません」という答えになるはずですので、そのあたりのご審議をいただきたい。

事務局 : 工事の進捗状況もございしますが、4月以降、役場の前の道路が主要幹線道路になってしまいます。現在、その小学校に行くところに横断歩道がございします。町としてはその近くにバス停を考えておりますが、警察との協議の中で安全対策上、どのようにすればいいのか、横断歩道も含めて検討しております。この協議会におきましては流動的な判断でお願いしたい。バス停については設置していきたいが、協議の中で安全対策上、バス停は困難ということになれば、当然、バス停は設置できない。その協議がこの1週間ぐらいの間で整っていく。判断を町にお任せしていただきたい。

NCバス : 運輸支局、警察にご判断をいただかないといけない。例えば持ち回りの形の書類審議は必要だと思ひます。

運輸支局 : 書面審議でも何らかの書類は必要だと考えます。

NCバス : ただ、町さんにお任せというわけにはいかない。

事務局 : バス停を設置するかしないかも含めて、持ち回りでご決裁いただけたらと思うのですが、よろしいですか。

NCバス : はい。

PTA : 場合によっては設置できないこともあり得るということですね。そういうことも含んだ今回の議案承認になるわけですね。

事務局 : はい。

警察署 : バス停設置そのものは現在もございしますし、異議はございしません。あくまでも設置の方法に関する協議ということでお願いします。

事務局 : 協議会を開催する時間がございしませんので、持ち回りで決裁いただきたい。

PTA : 役場のバス停の件ですが、幹線道路になるということで交通量がふえますから平群小学校の児童の安全対策ということで警察とも協議されていると思ひます

が、その図案ができた段階でPTAのほうにもきちんと情報を提供してほしい。

事務局 : 昨日、平群小学校の校長、教育委員会と協議させていただいて、一定の方向は出ております。地元の自治会長、交通安全の担当のとも協議しております。

副会長 : 図面などができましたら各委員に配付していただくようお願いしたい。

今回、新たな需要を掘り起こすということで、かんぼの宿、イオンビッグへの乗り入れという理解でよろしいですね。かんぼの宿は従来どおり送迎バスのところで乗り降りということだと思います。イオンビッグは、現行の駐車場を2枠提供してもらって、コミバスのバス停になっておりますが、「ここにありません」という標識だけでは土曜や日曜のお客さんが多いときにそこに自家用車が乗り入れるということも考えられます。その点はいかがですか。

事務局 : イオンビッグのバス停には、車止めの区間を二つ、ゼブラで引き直しまして、安全対策として車止めのポールも設置する計画です。かんぼの宿は、NCバスのバス停の横に併設ということで、かんぼの宿と合意しております。

「議案第3号承認」

以 上